

Musique à la carte

PRODUCED BY STAGESCAPE

vol.6

Orchestra Concert

指揮： 粟辻 聡
管弦楽： 吟遊詩人 21
ゲスト： 折江 忠道 (バリトン)

2012.8.10 (fri)

19:00 開演 ¥ 500.-
(18:00 開場 / 20:45 終演予定) (全席自由席)

A. コーランド 市民のためのファンファーレ

Aaron COPLAND 〈Fanfare for the Common Man〉

松本日之春 復活のパスカリア【新曲初演 World Premiere】

MATSUMOTO, Hinoharu 〈Passacaille de renaissance〉

G.ヴェルディ 歌劇「リゴレット」より” 悪魔め、鬼め”

Giuseppe VERDI 〈Rigoletto “Cortigiani, vil razza dannata”〉

J. ブラームス 交響曲第1番 八短調 作品68

Johannes BRAHMS 〈Symphonie Nr.1 c-moll op.68〉

※都合により内容・出演者等に変更が生じる場合がありますのであらかじめご了承ください。
※松本日之春作曲「復活のパスカリア」は、この演奏会のために作曲された楽曲です。

主催： STAGESCAPE・吟遊詩人 21
共催： 公益財団法人京都府長岡京記念文化事業団
お問合せ： 京都府長岡京記念文化会館 075-955-5711 <http://www.nagaokakyo-hall.jp/>
STAGESCAPE 075-393-6020 <http://musiquealacarte.jp/>

WEB 予約フォーム

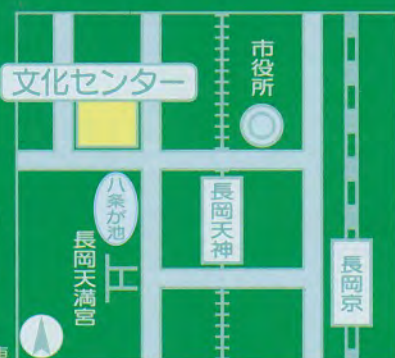


◆チケットのお求めは長岡京記念文化会館窓口、または WEB 予約 <http://bit.ly/J2k6VI> まで

京都府長岡京記念文化会館

京都府長岡京市天神 4-1-1 TEL 075-955-5711

◆交通機関 *阪急京都線「長岡天神」駅西口より徒歩6分 *JR 京都線「長岡京」駅西口よりバス7分「開田」又は「文化センター前」下車





作曲 Composer

松本日之春 MATSUMOTO, Hinoharu

1945年東京生まれ。1968年東京藝術大学音楽学部卒業、1970年同大学院修了。1968年毎日音楽コンクール入賞。1969年エリザベート国際音楽コンクール入賞。池内友次郎、三善晃、島岡譲の各氏に師事。1970年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。1975年パリ国立高等音楽院作曲科、電子音楽科をそれぞれ首席卒業。アンドレ・ジョリベ、イヴォ・マレク、ミシェル・フリボーの各氏に師事。G.R.M.(フランス国営放送局所属音楽研究グループ)、プールジュ実験音楽グループに属し、電子音楽作品を多数制作・初演。フランス国営放送局委嘱作品「遠い声」、リティネラール委嘱作品「途切れたアリア」等多数の作品をパリで初演。O.R.T.F. フランス国営放送局で放送、放映される。帰国後、音楽集団アンサンブルヴァンドリアンに参加、第1回中島健蔵賞をグループで受賞。代表的な作品としては、民音現代音楽祭オーケストラ委嘱作品「レ・レオニード」「プリズマモザイク」、京都市立芸術大学オーケストラのための「フェスタ」「夢のまた夢」「むかしむかし」、京都市交響楽団委嘱「いにしへの夢のほとりにて」、室内楽シリーズ《アルファシリーズ1~11》、歌曲「7つの歌」「オフエリア」「5つの歌」「優しき歌」、20世紀の吟遊詩人自主制作オペラ「幸福の王子」、カンタータ「デメテルとベルセフォネ」、ヴァイオリンソナタ「ヴェネツィア」「8 廻めの春」「ヴァイオリンソナタ第二番」チェロソナタ「フィレンツェ」「シエナ」「アシジ」「そらへ」「ソネット」、箏と尺八とコンピュータのための「曙の鳥」等がある。さらに管弦楽曲、室内楽曲、声楽曲、邦楽曲、テープ・電子音との複合音楽、コンピュータミュージック等、多岐にわたるジャンルに多数の作品がある。近年では管弦楽曲の他、歌曲作品を数多く(100数曲)手がけ、ピアノ独奏曲にも多数の作品(70数曲)がある。日本現代音楽協会および作曲家協議会会員、20世紀の吟遊詩人/吟遊詩人21 主宰。2002~2006年および2010年京都市立芸術大学大学評議員、2004~2006年同大学音楽学部長および音楽研究科長を務める。茨城大学特任教授、東京藝術大学講師、京都市立芸術大学名誉教授。



バリトン Baritone

折江 忠道 ORIE, Tadamichi

東京藝術大学卒業、同大学院修了。ミラノのヴェルディ音楽院で学ぶ。1982年と83年にアレクサンドリア国際コンクール優勝。1982年ヴィオッティ国際コンクール第2位入賞。アレクサンドリア劇場の「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロールでオペラ・デビューを飾り、翌年は「ジャンヌ・ダルク」に出演。以来、イタリア各地の歌劇場で「友人フリッツ」、「ラ・ボエーム」、「カヴァレリア・ルスティカーナ」等で活躍。1987年には「リゴレット」をフランス各地で歌い、さらにドイツ、スウェーデンなどへの活動の場を広げた。1988年藤原歌劇団「椿姫」のジェルモンで日本でのオペラ・デビューを飾り大成功を収め、同年「マクベス」のタイトルロールに出演。その後、「清教徒」、「ドン・カルロ」、「トスカ」、「カルメン」、「ルチア」、「愛の妙薬」の公演で好評を博し、「椿姫」のジェルモンは持ち役の一つとして度々歌っている。1996年イタリアより帰国後も藤原歌劇団、文化庁青少年芸術劇場公演で活躍を続け、新国立劇場には「蝶々夫人」のシャープレスで初登場、2001年以降は「トスカ」にスカルピアで3年連続出演。びわ湖ホール・プロデュースオペラ「十字軍のロンバルディア人」、「スティッフエリオ」に出演。最近では、藤原歌劇団「トスカ」、「ランスへの旅」、愛知県立劇場「ファルスタッフ」のタイトルロールで絶賛を博している。「第九」、NHKニューイヤー・オペラコンサート他、各種コンサートでも活躍。第16回シロー・オペラ賞受賞。藤原歌劇団団員。現在、京都市立芸術大学教授、昭和音楽大学委託講師。



指揮 Conductor

粟辻 聡 AWATSUJI, Sou

京都市少年合唱団、京都市立音楽高等学校(現京都市立京都堀川音楽高等学校)クラリネット専攻を経て、2007年京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻に入学。2011年、同大学を首席で卒業し、音楽学部賞並びに、京都音楽協会賞を受賞。学内演奏会に多数出演。交響曲、協奏曲、また新曲初演の指揮も数多く手がける。2010年5月には京都市立芸術大学の学術協定に基づき開催されるクロックタワーコンサートにてレクチャーコンサートを開催し、新聞紙上にもとり上げられるなど大きな話題を呼んだ。2010年8月には「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加。同音楽祭の公演において山形交響楽団、アフィニス祝祭管弦楽団を指揮した。これまでに奈良フィルハーモニー管弦楽団、京響市民合唱団、あうるすフルートアンサンブル、関西フルートオーケストラなどに客演し、いずれも好評を博す。指揮を、秋山和慶、尾高忠明、増井信貴、飯森範親、下野竜也、谷野里香の各氏に師事。ロームミュージックファンデーション音楽セミナー〈指揮者クラス〉2007、2011に参加し、湯浅勇治、三ツ石潤司の各氏に師事。現在、兵庫県立西宮高等学校音楽科の非常勤講師を務めるかたわら、多方面で活躍。ムジカ A 国際音楽協会会員。明治安田クオリティオブライフ音楽奨学生。

吟遊詩人 21 GIN'YU SHIJIN 21

京都市立芸術大学で出会い、共に音楽の世界を生きようと私の在職11年の間に、私のまわりに集まってくれた、自主的なオーケストラ「管弦楽法管弦楽団」(本来、講義科目である管弦楽法という授業を実際に音を出しながら研究しようよと立ち上げた楽団です)がありました。共に音楽を創り上げてきた京芸の卒業生達がいつでも自分たちが育った故郷として集まることが出来るグループを作ろうよということになりました。私がかつて東京の仲間達でつくり活動していた「20世紀の吟遊詩人」の発展形「吟遊詩人21」というタイトルで、旧・管弦楽法管弦楽団の公演を中心に、室内楽のコンサートも企画しながら年に数回の活動をしたいという、希望を持って集まりました。プロでもアマチュアでも、学生オーケストラでもない、若いメンバーひとりひとりが、自らの考えを自由に表現しあえる環境で、今まで皆で音楽を創ってきた楽しみを、新しく生まれ変わるであろうこれからの時代のなかで、共に実現させていきたいと願っております。